

滝野川南地区教育環境整備協議会

協議会だより

《事務局》
 教育委員会事務局
 教育改革担当部
 (電話) 3908-9271
 (Fax) 3906-8755
 (eメール)
 k-kaikaku@kitacity.jp

第1号
 (平成15年12月発行)

滝野川南地区の教育環境を考える協議会がスタートしました

第1回協議会を11月7日(金)滝野川第一小学校にて、第1回幹事会を12月10日(水)東田端地域振興室にて開催し、下記の事項を検討・審議のうえ協議会が発足しました。

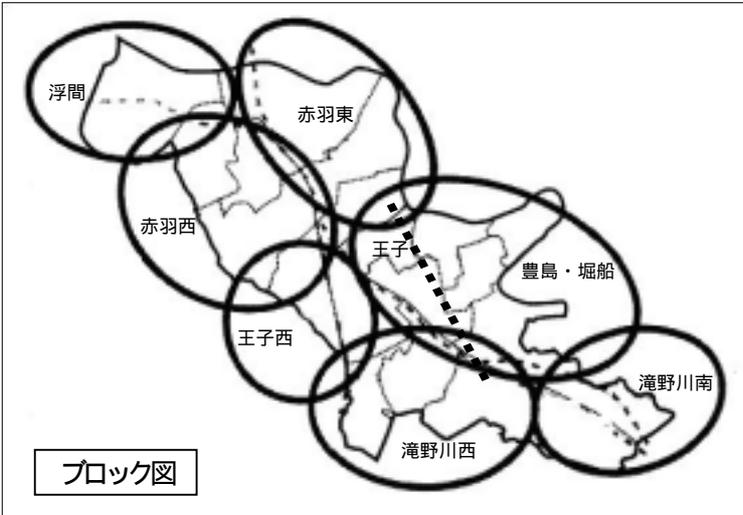
- 1) 協議会の設置要綱を承認し、協議会の名称を定めました。
- 2) 協議会委員を町会・自治会会長、中学校PTA会長、小学校PTA会長、各学校長の計30名としました。
- 3) 協議会に幹事会を設け、構成を町会・自治会会長より6名、中学校PTA会長、小学校PTA会長、中学校長、小学校長の計16名としました。
- 4) 協議会・幹事会とも公開とし、どなたでも傍聴できることとしました。

《幹事会メンバー》	
(座長) 西村芳吉 田端新町会会長	横前厚太 滝野川第一小校長
(副座長) 多家寛明 東田端和会会長	青木 猛 滝野川第四小校長
藤崎政男 中里町自治会会長	土山眞一 滝野川第七小校長
林 一恵 中里新会会長	福岡由美子 田端中校長
竹腰理子 田端町会会長	鴨宮 茂 新町中校長
中込 章 田端新町目録会会長	
大島真次 滝野川第一小PTA会長	
阿良田由紀 滝野川第四小PTA会長	
小室 豊 滝野川第七小PTA会長	
片桐正幸 田端中PTA会長	
鈴木孝子 新町中PTA会長	

協議会とは

学校適正規模等審議会(第二次)答申を踏まえ、北区全体を7ブロック8地区に分け、各地区に協議会を設けることとしました。

本協議会は、滝野川南地区(田端中・新町中・滝野川第一小・滝野川第四小・滝野川第七小の通学区域)の地区全体で 教育環境の整備 学校の適正配置 新しい学校づくり 等を考えていきます。



ブロック図

詳細は北区ホームページ (<http://www.city.kita.tokyo.jp/kyouiku/kaikaku/index.htm>) をご覧ください。

協議会資料・議事録は事務局および関係各校にございます。



《事務局》
教育委員会事務局
教育改革担当部
(電話) 3908-9271
(Fax) 3906-8755
(eメール)
k-kaikaku@city.kita.lg.jp

第2号
(平成16年10月発行)

滝野川南地区における望ましい中学校の数は1校

第2回協議会を9月29日(水)東田端ふれあい館にて開催し、これまでの幹事会の経過報告を受け、これからの子どもたちのために、また活力ある学校とするために、望ましい中学校の数は1校(田端中+新町中)であることを確認しました。

今後、望ましい学校の位置や、望ましい統合の時期について議論を深めていく予定です。

今までの検討経過

- 協議会第1回(平成15年11月7日): 協議会、幹事会の設置
- 幹事会第1回(平成15年12月10日): 座長選出・今後の検討に向けて
- 【協議会だより第1号 平成15年12月発行】
- 幹事会第2回(平成16年2月12日): 望ましい学校数の検討
 - ・小規模校のメリット、デメリット
 - ・1校案、2校案の比較検討
- 幹事会第3回(平成16年5月17日): 望ましい学校数の検討
- 幹事会第4回(平成16年6月28日): 望ましい学校配置について
 - ・シミュレーションをもとに検討
- 幹事会第5回(平成16年8月2日): 望ましい学校配置について
 - ・検討シートをもとに検討
- 協議会第2回(平成16年9月29日): 経過報告

ご意見をお寄せください

皆様の協議会へのご意見をお待ちしています。
上記の事務局あてお送りください。

参考資料 学校の現状

	16年度生徒数	敷地広さ	校舎建築年次	大規模改造年次	耐震補強年次
田端中	192(6)	6391.91 m ²	昭和36年	昭和61年	平成11年
新町中	107(4)	3853.40 m ²	昭和41年	平成5年	

カッコ内の数字は学級数です。

詳細は北区ホームページ (<http://www.city.kita.tokyo.jp/kyouiku/kaikaku/index.htm>) をご覧ください。

協議会資料・議事録は事務局および関係各校にございます。

滝野川南地区教育環境整備協議会

協議会だより

《事務局》

教育委員会事務局

教育改革担当部

(電話) 3908-9271

(Fax) 3906-8755

(eメール)

k-kaikaku@city.kita.lg.jp

第3号

(平成17年3月発行)

平成15年11月に第1回滝野川南地区教育環境整備協議会を開催して以来、約1年半にわたり中学校の適正配置について検討を重ねてきました。3月3日、第3回協議会全体会において、これまでの経過を踏まえた「協議会方針」が確認、了承されました。

《協議会方針》

- (1) 田端中学校と新町中学校は統合し、新たな1校を再配置する。
- (2) 統合中学校の位置については、小学校の位置も含めて検討することが望ましい。
- (3) 統合の実施時期については、検討に至っていない。

開催経過

(仮称)滝野川南地区ブロック協議会設置に向けて(平成15年10月7日)

学校適正規模等審議会第二次答申について 協議会の基本的な考え方

滝野川南ブロックの現状

- ・田端地区と東田端地区互いの実情が分からない。話し合ってもチグハグになるのでは。
- ・学校にはそれぞれの良さがある。統合前提の議論は、まだ早い。

第1回協議会(平成15年11月7日)

協議会設置要綱について 幹事会の設置について

第1回幹事会(平成15年12月10日)

座長選出 座長:西村芳吉氏 副座長:多家廣明氏 今後の検討に向けて

- ・学校規模で考えると中学校よりも小学校のほうが問題。
- ・中学校だけではなく、小学校もあわせて考える必要がある。特に今後中学校へ行く小学生の保護者の意見を入れて欲しい。
- ・現在の学校用地以外、新たな敷地確保の目処はない。

協議会だより第1号発行(平成15年12月)

第2回幹事会(平成16年2月12日)

望ましい学校数の検討

- ・小規模校について:きめ細やかな指導ができるなどの良さがある反面、力強く生き

る力に欠ける。小学校と中学校とは、分けて考えるべき。

- ・部活動について：小規模校では運営が難しく、保護者の要望、生徒の期待に応えられない。部活動によって進学先を選ぶ人も多い。
- ・適正規模の確保：田端中と新町中が一緒になれば、1学年3学級の適正規模は確保できるが、配置が難しい。

第3回幹事会（平成16年5月17日）

望ましい学校数の検討

- ・統合によって、通学距離は伸びるが、生徒数が増え、学校の勢いがつく。

第4回幹事会（平成16年6月28日）

望ましい学校数の検討

- ・新校舎を念頭に置くなら、小学校を含めた地区全体のあり方を考えるべき。
- ・小学校の統合となると問題だ。中学校だけで考えるべき。

第5回幹事会（平成16年8月2日）

望ましい学校配置について

- ・後年、後悔することがないように、時間がかかっても、地域全体で最も望ましい形を考えるべき。小学校を外せない。
- ・急に小学校を議論の俎上にあげるのは混乱を招くだけ。まずは小学校にまで話を拡散させず、中学校間でまとめるべき。

第2回協議会（平成16年9月29日）

検討経過報告

協議会だより第2号発行（平成16年10月発行）

第6回幹事会（平成16年11月29日）

望ましい学校配置について

- ・中学校について考える協議会ではあるが、どの場所にするかは別にして、小学校を含めて考えていかなければ仕方がない。

第7回幹事会（平成17年2月2日）

検討報告書案について

第3回協議会（平成17年3月3日）

検討経過報告

今回の《協議会方針》をもって、この協議会を締めくくります。

この地域のこれからの子どもたち、これからの学校を考えたとき、果たしてこのままでよいのか、どのような形が最も望ましいのかを、約1年半にわたって議論を重ねました。幹事会における活発な議論をもとに、「田端中学校と新町中学校を統合する。位置については小学校の位置も含めて検討する」という一定の方針をまとめることができました。

長い間、熱心にご検討くださった委員の方々、ご協力くださった学校関係者や町会自治会の皆様には座長として心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

滝野川南地区教育環境整備協議会

座長 西村 芳吉

詳細は北区ホームページ (<http://www.city.kita.tokyo.jp/kyouiku/kaiaku/index.htm>) をご覧ください。

協議会資料・議事録は事務局および関係各校にございます。